

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新	旧																
<div>共通</div> <div><ul style="list-style-type: none">・ 上水道編と山間地域水道編の合体に伴う修正・ 所属名称の変更に伴う修正・ 水道行政の移管に伴う修正</div> <div>※ 軽微な誤字等の修正は掲載省略</div> <div>様式</div> <div><ul style="list-style-type: none">・ 記載方法の統一に伴う修正</div> <div>〔事務取扱い〕</div> <div>2 必要書類等の作成要領</div> <div>(2) 本市が・・・作成すること。</div> <div><table><tr><td></td><td>許可申請書類</td><td>添 付 図 書</td></tr><tr><td rowspan="3">市道</td><td rowspan="3">道路掘削の内訳書関係</td><td>位置図（施工場所を明記）、平面図、掘削断面図</td></tr><tr><td>(削除)</td></tr><tr><td>新設舗装掘削同意書（新設舗装道の掘削に必要）</td></tr></table></div> <div>(3) 必要書類等作成の留意事項</div> <div>オ 指定工事業者は、・・・しゅん工後、10 日以内に工事場所を担当する上下水道局の給水工事事務所（北部担当）又は給水工事事務所（南部担当）（以下「給水工事事務所」という。）でしゅん工図面を整理し・・・提出する。</div> <div>※以下、名称変更のみの修正は省略する。</div> <div>7 路面復旧設計費及び路面復旧費</div> <div>(2) 路面復旧費の納入</div> <div>路面復旧費は、別に定める算出基準により算出した概算額が、給水工事事務所から通知されるので、給水装置工事の着手前に（ 削除 ）納入す</div>		許可申請書類	添 付 図 書	市道	道路掘削の内訳書関係	位置図（施工場所を明記）、平面図、掘削断面図	(削除)	新設舗装掘削同意書（新設舗装道の掘削に必要）	<div>〔事務取扱い〕</div> <div>2 必要書類等の作成要領</div> <div>(2) 本市が・・・作成すること。</div> <div><table><tr><td></td><td>許可申請書類</td><td>添 付 図 書</td></tr><tr><td rowspan="3">市道</td><td rowspan="3">道路掘削の内訳書関係</td><td>位置図（施工場所を明記）、平面図、掘削断面図</td></tr><tr><td>設計協議の回答書（大阪ガス）</td></tr><tr><td>新設舗装掘削同意書（新設舗装道の掘削に必要）</td></tr></table></div> <div>(3) 必要書類等作成の留意事項</div> <div>オ 指定工事業者は、・・・しゅん工後、10 日以内に工事場所を担当する上下水道局の北部又は南部給水工事課（以下「給水工事課」という。）でしゅん工図面を整理し・・・提出する。</div> <div>7 路面復旧設計費及び路面復旧費</div> <div>(2) 路面復旧費の納入</div> <div>路面復旧費は、別に定める算出基準により算出した概算額が、給水工事課から通知されるので、給水装置工事の着手前に給水工事課へ納入するこ</div>		許可申請書類	添 付 図 書	市道	道路掘削の内訳書関係	位置図（施工場所を明記）、平面図、掘削断面図	設計協議の回答書（大阪ガス）	新設舗装掘削同意書（新設舗装道の掘削に必要）
	許可申請書類	添 付 図 書															
市道	道路掘削の内訳書関係	位置図（施工場所を明記）、平面図、掘削断面図															
		(削除)															
		新設舗装掘削同意書（新設舗装道の掘削に必要）															
	許可申請書類	添 付 図 書															
市道	道路掘削の内訳書関係	位置図（施工場所を明記）、平面図、掘削断面図															
		設計協議の回答書（大阪ガス）															
		新設舗装掘削同意書（新設舗装道の掘削に必要）															

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新	旧
<p>ること。</p> <p>11 完了検査</p> <p>(2) 完了検査日の決定</p> <p>ア 立会検査日(施行日)は、外部接続工事完了検査申請書の提出時に(削除) 工事担当職員と打合わせのうえ決定すること。通常、申請書の提出から立会検査までの期間は、概ね2週間の期間内で予定を組むが、道路占用及び掘削許可申請手続等の関係で、さらに日数を要するときがあるので余裕をもって申請すること。</p> <p>なお、立会検査は原則として平日の午前8時30分から午後5時までに行う。</p> <p>イ 立会検査日を変更する必要があるときは、速やかに工事担当職員に連絡し、改めて調整を行い、立会検査日を決定すること。</p> <p>(3) 検査の内容</p> <p>ア (削除) 工事担当職員は、指定工事業者からの完了検査依頼により、完了検査を実施する。</p> <p>イ 完了検査は、配水管の分岐せん孔時に実施する立会検査と工事記録写真及び(削除) 整理したしゅん工図(以下「提出書類」という。)の提出により行う。</p> <p>なお、提出書類は立会検査後、2週間以内に(削除) 工事担当職員に提出しなければならない。</p> <p>ウ 検査には、主任技術者が立ち会うこと。</p> <p>エ 完了検査の結果、施工内容(評定)に不備があり、(削除) 工事担当職員から改善の指示があったときは、速やかに改善措置を行うこと。内容によっては、再検査を実施する。</p>	<p>と。</p> <p>11 完了検査</p> <p>(2) 完了検査日の決定</p> <p>ア 立会検査日(施行日)は、外部接続工事完了検査申請書の提出時に給水工事課の工事担当職員と打合わせのうえ決定すること。通常、申請書の提出から立会検査までの期間は、概ね2週間の期間内で予定を組むが、道路占用及び掘削許可申請手続等の関係で、さらに日数を要するときがあるので余裕をもって申請すること。</p> <p>なお、立会検査は原則として平日の午前8時30分から午後5時までに行う。</p> <p>イ 立会検査日を変更する必要があるときは、速やかに工事担当職員に連絡し、改めて調整を行い、立会検査日を決定すること。</p> <p>(3) 検査の内容</p> <p>ア 給水工事課の工事担当職員は、指定工事業者からの完了検査依頼により、完了検査を実施する。</p> <p>イ 完了検査は、配水管の分岐せん孔時に実施する立会検査と工事記録写真及び給水工事課で整理したしゅん工図(以下「提出書類」という。)の提出により行う。</p> <p>なお、提出書類は立会検査後、2週間以内に給水工事課の工事担当職員に提出しなければならない。</p> <p>ウ 検査には、主任技術者が立ち会うこと。</p> <p>エ 完了検査の結果、施工内容(評定)に不備があり、給水工事課の工事担当職員から改善の指示があったときは、速やかに改善措置を行うこと。内容によっては、再検査を実施する。</p>

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新	旧
<p>13 施工管理</p> <p>(5) 道路管理者の許可条件の厳守 オ 公道の舗装仮復旧工事跡には、白色ラッカースプレーで縦方向に「上水」と表示すること。</p> <p>(6) 所轄消防署への届出 京都市火災予防条例第 57 条の規定に基づき、消防隊の通行その他消火活動に支障を及ぼすおそれがある場合は、あらかじめその旨を所轄消防署長に届け出ること。</p> <p>〔設計〕</p> <p>1 基本事項 外部接続工事の設計及び施工は、水道法（ 削除 ）第 16 条及び同施行令第 6 条に規定する給水装置の構造及び材質の基準並びに道路法、その他関係法令の定めに基づき適正に施工しなければならない。</p> <p>2 一般事項 (2) 配水管（ 削除 ）の断水を必要とするときは断水範囲を十分調査し、見取図等に断水区域を明記しておくこと。</p> <p>5 給水管の種類及び呼び径 (2) 布設場所の状況により、布設してはならない管種は次のとおりとする。 （削除） 直射日光を受ける箇所・・・ポリエチレン二層管の布設。 （削除） （削除）</p>	<p>13 施工管理</p> <p>(5) 道路管理者の許可条件の厳守 オ 公道の舗装仮復旧工事跡には、白色ラッカースプレーで「上水」（縦書き）の表示をすること。</p> <p>(6) 担当消防署への届出 消防車が通行できる道路で工事をするときは、京都市火災予防条例第 57 条の規定により、道路工事届出書を担当消防署長あて（受付窓口）に提出すること。</p> <p>〔設計〕</p> <p>1 基本事項 外部接続工事の設計及び施工は、水道法（以下「法」という。）第 16 条及び同施行令第 6 条に規定する給水装置の構造及び材質の基準並びに道路法、その他関係法令の定めに基づき適正に施工しなければならない。</p> <p>2 一般事項 (2) 配水管の断水を伴う工事となるのか。断水を必要とするときは断水範囲を十分調査し、見取図等に断水区域を明記しておくこと。</p> <p>5 給水管の種類及び呼び径 (2) 布設場所の状況により、布設してはならない管種は次のとおりとする。 ア 酸性土壌の影響を受ける箇所へのダクタイル鋳鉄管の布設 イ 直射日光を受ける箇所・・・ポリエチレン二層管の布設。 ウ 電食のおそれのある箇所へのダクタイル鋳鉄管の布設 ア又はウにおいて、ポリエチレンスリーブ等で防食措置を講じた工法による場合は、この限りでない。</p>

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新

旧

6 給水管の分岐

(1) 給水管が分岐できる配水管の呼び径は、300mm 以下（山間地域水道（以下「山間」という。）は 250 mm以下）とし、・・・でなければならない。

(4) 分水器具の取付区分は、・・・次表に掲げるものとする。・・・

給水管の呼び径 配水管の種類	25mm以下	40mm	50mm	75mm以上
铸铁管	DIP用サドル付分水栓	DIP用サドル付分水栓	DIP用サドル付分水栓 不連続水連絡管バルブ付 （旧京北地域水道のみ）	T字管 不連続水連絡管
鋼管	※1 VP用サドル付分水栓 ※2 チーズ	※1 VP用サドル付分水栓 （配水管75mm以上の場合） チーズ （配水管50mmの場合）	VP用サドル付分水栓 不連続水連絡管バルブ付 （旧京北地域水道のみ）	-
ビニル管	VP用サドル付分水栓 チーズ （配水管25mmの場合）	VP用サドル付分水栓 （配水管75mm以上の場合） チーズ （配水管50mmの場合）	VP用サドル付分水栓 不連続水連絡管バルブ付 （旧京北地域水道のみ）	-
配水用ポリエチレン管	HPE用サドル付分水栓	HPE用サドル付分水栓 （配水管75mm以上の場合） チーズ （配水管50mmの場合）	HPE用サドル付分水栓 不連続水連絡管バルブ付 （旧京北地域水道のみ）	-
※3 ポリエチレン二層管	PE2用サドル付分水栓 （給水幹線40、50mmの場合） チーズ	チーズ	-	-

※1 鋼管からVP用サドル付分水栓による分岐をする場合は、鋼管の外層を剥がして施工すること。
※2 チーズによる分岐を行う場合は、給水工事事務所と協議すること。
※3 ポリエチレン二層管は、給水幹線として使用する場合にのみ適用する。専用装置等からの分岐は認めない。

〔施工〕

4 交通保安対策

(1) 保安さく

工事現場の周囲には、横板部分に黄色と黒色の斜縞で彩色した高さ 0.8m 以上 1m 以下、長さ 1m 以上 1.5m 以下・・・

11 給水管の埋設深さ

なお、旧京北地域水道、旧広河原・花脊簡易水道、旧久多簡易水道、旧別所

6 給水管の分岐

(1) 給水管が分岐できる配水管の呼び径は、300mm 以下とし、・・・でなければならない。

(4) 分水器具の取付区分は、・・・次表に掲げるものとする。・・・

給水管の呼び径 配水管の種類・呼び径		25mm以下	40mm	50mm	75mm以上
铸铁管	75mm	DIP用サドル付分水栓			-
	100～300mm				・T字管 ・不連続水連絡管
鋼管	40mm	※1 VP用サドル付分水栓 ※2 チーズ	-	-	-
	50mm	チーズ	-	-	-
ビニル管	25mm	※4 チーズ	-	-	-
	40mm	VP用サドル付分水栓	-	-	-
	50mm		チーズ	-	-
	75mm		VP用サドル付分水栓	-	-
ポリエチレン管	50mm	HPE用サドル付分水栓	チーズ	-	-
	75mm	HPE用サドル付分水栓			-
※3 ポリエチレン二層管	25mm	※4 チーズ	-	-	-
	40mm	PE2用サドル付分水栓	-	-	-
	50mm		チーズ	-	-

※1 鋼管からVP用サドル付分水栓による分岐をする場合は、鋼管の外層を剥がして施工すること。
※2 チーズによる分岐を行う場合は、給水工事課と協議すること。
※3 ポリエチレン二層管は、給水幹線として使用する場合にのみ適用する。専用装置等からの分岐は認めない。
※4 同口径の分岐は認めない。

〔施工〕

4 交通保安対策

(1) 保安さく

工事現場の周囲には、横板部分に黄色と黒色の斜縞で彩色した高さ 0.8m 以上、長さ 1m～1.5m 以下・・・

11 給水管の埋設深さ

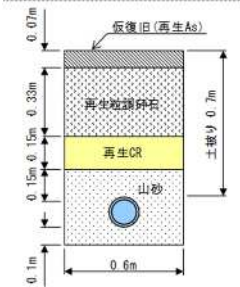
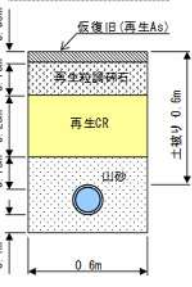
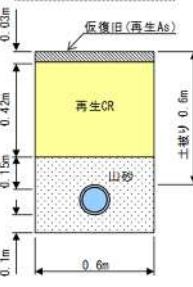
外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新	旧													
<p>簡易水道については、次表を適用する。</p> <table><tr><th>道路種別</th><th>標準埋設深さ (m)</th></tr><tr><td>国道・指定府道</td><td>0.7 0.6（歩道）</td></tr><tr><td>旧国道</td><td>0.7</td></tr><tr><td>府道・市道</td><td>0.6</td></tr></table> <p>14 給水管の接合</p> <p>(1) 水道用ポリエチレン二層管 1 種</p> <p>エ 管の接合</p> <p>原則として水道用ポリエチレン二層管 1 種の金属継手（耐震性能強化型）を用いることとし、以下のことに注意すること。</p> <p>(2) ダクタイル鋳鉄管 K 形 1 種</p> <p>ク 管・継手部にはすべてポリエチレンスリーブ被覆を行うこと。</p> <p>15 給水装置の保護</p> <p>(3) 鋳鉄管の防食用ポリエチレンスリーブの取り付け</p> <p>イ ゴムバンドを用いてスリーブを固定する。その際、管明示テープとゴムバンドが重ならないように施工する。</p> <p>19 埋戻し</p> <p>○ 埋戻し表</p> <p>旧京北地域水道、旧広河原・花脊簡易水道、旧久多簡易水道、旧別所簡易水道については、次表を適用する。</p> <table><tr><th>道路種別</th><th>埋設深さ</th><th>埋戻し工</th><th>埋戻し材料</th><th>埋戻し厚さ</th></tr></table>	道路種別	標準埋設深さ (m)	国道・指定府道	0.7 0.6（歩道）	旧国道	0.7	府道・市道	0.6	道路種別	埋設深さ	埋戻し工	埋戻し材料	埋戻し厚さ	<p>(記載なし)</p> <p>14 給水管の接合</p> <p>(1) 水道用ポリエチレン二層管 1 種</p> <p>エ 管の接合</p> <p>原則として水道用ポリエチレン二層管 1 種の金属継手を用いることとし、以下のことに注意すること。</p> <p>(2) ダクタイル鋳鉄管 K 形 1 種</p> <p>(記載なし)</p> <p>15 給水装置の保護</p> <p>(3) 鋳鉄管の防食用ポリエチレンスリーブの取り付け</p> <p>イ ゴムバンドを用いてスリーブを固定する。</p> <p>(注) 管明示テープとゴムバンドは、重ならないように施工する。</p> <p>19 埋戻し</p> <p>○ 埋戻し表</p>
道路種別	標準埋設深さ (m)													
国道・指定府道	0.7 0.6（歩道）													
旧国道	0.7													
府道・市道	0.6													
道路種別	埋設深さ	埋戻し工	埋戻し材料	埋戻し厚さ										

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新					旧
	(m)	種		(m)	(記載なし)
国道・旧国道 ・指定府道 (車道)	0.7	全量入替	再生粒度調整砕石	0.33	
			再生クラッシャーラン	0.15	
			砂	管上+0.15 管下+0.10	
国道・指定府道 道 (歩道)	0.6	全量入替	再生クラッシャーラン	0.42	
			砂	管上+0.15 管下+0.10	
府道・市道 (車道)	0.6	全量入替	再生粒度調整砕石	0.15	
			再生クラッシャーラン	0.25	
			砂	管上+0.15 管下+0.10	
<div>○ 埋戻し標準図</div> <div>旧京北地域水道、旧広河原・花脊簡易水道、旧久多簡易水道、旧別所簡易水道については、次表を適用する。</div>					
<div>○ 埋戻し標準図</div>					

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新	旧
<div data-bbox="159 244 398 280">国道/指定府道/旧国道（車道）</div> <div data-bbox="159 280 398 568"></div> <div data-bbox="510 244 701 280">府道/市道（車道）</div> <div data-bbox="510 280 701 568"></div> <div data-bbox="801 244 992 280">国道/指定府道（歩道）</div> <div data-bbox="801 280 992 568"></div> <div data-bbox="159 603 539 624"><p>（注1）上記図中の数字は、ポリ管使用時（ポリ管以外は0.05m）</p></div>	

外部接続工事施工の手引き 新旧対照表

新	旧
---	---